

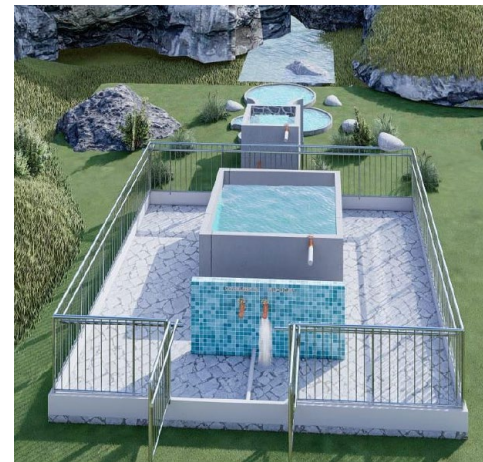
## 5. Mbororo共同体の水源池改修(カメルーン)

- 実施団体: Support Humanity Cameroon(SUHUCAM)
- 実施地: カメルーン Ngoketunjia県 Bamunkumbit村
- プロジェクト予算: 2,326ドル(JWFファンド1,500ドル、団体 448ドル、受益者 378ドル)
- 受益者数: 1,000人(男性200人、女性350人、子ども450人)
- 実施地の水問題:

放牧民のMbororo族が居住する実施地域は、かつて生物多様性が豊かな自然環境だった。しかし、気候変動や山火事、樹木の乱伐などで、多くの水源において消失・劣化や動物の侵入汚染が発生した。現在の住民約1,000人の多くは女性と子どもで、乾季には十代の子どもたちが3km以上歩いて清潔な飲料水を求める水不足に直面している。伝染病の発生率が高く、腸チフス、下痢、赤痢などの水系感染症が増加している。また、学校に通う年齢の子どもたちが水探しに多くの時間を費やして、学校に遅刻することによって学業成績にも悪影響を及ぼしている。



既存の水源池



完成予想図

- 主な活動内容: 初回ミーティング、衛生管理プログラム実施、水源池整備、植林と周辺の整備、維持管理の水委員会の設置等。
- 特長: 住民による水委員会が維持管理を行う。この水委員会は、地域行政の指導のもとに持続性をはかる。
- 団体: 2018年に設立した地域開発と環境保持団体。2021年より北西カメルーンの水源地整備に着目して、国外資金による類似事業を実施してきた。この団体は、Mbororo族共同体を2020年のコロナ発生時から支援している。